

子どもを真ん中に つながりをもつ

延岡市立港小学校 教頭 川野幸三

港小学校は、東海地区に位置し目の前に北川が流れ、豊かな自然に囲まれた環境の中に設置されています。児童数12名の小規模校で、全学年が複式学級です。校区内には、港神社、住吉神社、東海神社、水尻神社等の多くの名勝があり、各所で祭りや神事が行われ、児童は地域の行事に参加しています。毎年児童が運動会で太鼓演奏を披露し、地域の方と一緒におどりを踊っています。コロナ前は、地域の盆踊りでも太鼓を演奏していました。学校行事にも地域の方々が参加してくださり、中でもグランドゴルフ大会は地域の方が中心となって運営していただきます。

PTA 戸数は9戸で、「親子の会話を広げよう」を目標に PTA 活動に取り組んでいます。



1 みどりの少年団と連携した奉仕活動



港小PTAでは、5月と8月の年2回PTA奉仕作業を行っています。本校は「みどりの少年団活動」にも取り組んでいますので、PTAと合同で奉仕作業を行います。5月の作業の際には結団式も行い、少年団の会長と兼務しているPTA副会長から激励の言葉をいただきます。

また、PTA組織の中の親子会が廃品回収を行います。親子会会長ももう一人のPTA副会長が兼務していますので奉仕活動とPTA活動は密接に結びついています。親子合同で行うこれらの活動をとおして、児童が奉仕の心を身につけてくれば幸いです。

2 学校行事の支援

先述のように本校も小規模校ですので、職員の数も限られています。各種行事の準備や片付けもPTAの力が不可欠です。

運動会の準備や片付け、学習発表会の片付けでは保護者が役割を分担しスムーズに作業をしています。コロナの影響で中止していたバザーも、若干規模を縮小しながらも再開しました。

校区内の道路を使って行うマラソン大会でも児童の安全管理のため、立ち番の必要がありますが、職員だけではチェックポイントを網羅できませんので、ここでも保護者が協力して分担します。大会後はPTAで炊き出しを行い、児童は疲れを癒やしました。



3 学校保健委員会への参加



参観日に保護者と児童を対象に「学校保健委員会」を行います。昨年度はカルビーの方を講師としてお招きし、『カルビースナックスクール食育教室』という題で、スナック菓子の成分や食べる適量を学びました。親子で学ぶことで、自分たちの食生活を考えるよい機会となりました。今年度も講師をお招きし、メディアに関するルール作りを行い、利用時間や利用の仕方について親子で学びました。